



# 新潟教育会報

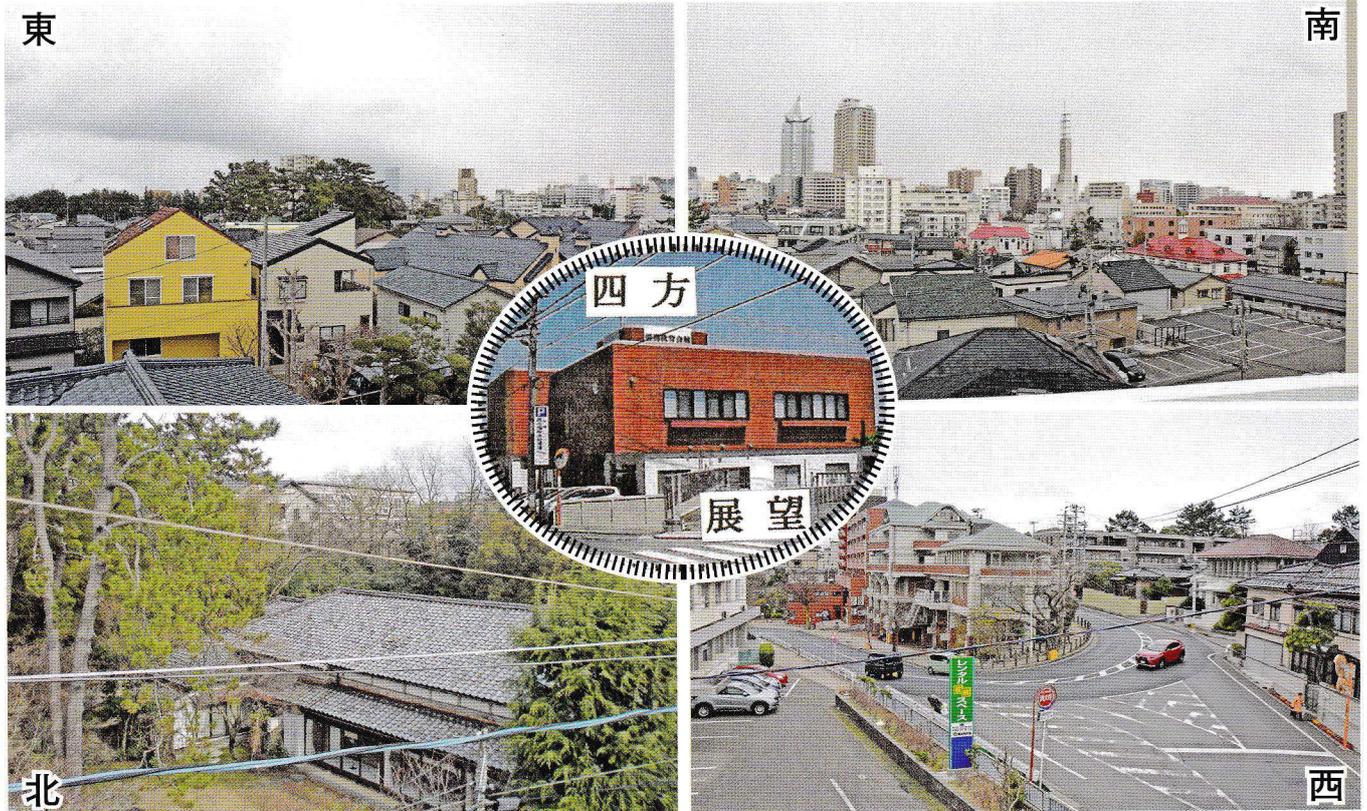
第83号

公益財団法人新潟教育会  
(新潟教育会館内)

代表理事 川端 弘実

〒950-8104  
 新潟市中央区西大畑町590番地3  
 TEL/FAX 025-222-2971  
 URL <http://kyouikukai.jp>  
 E-mail 事務局 [jimu@kyouikukai.jp](mailto:jimu@kyouikukai.jp)  
 研究所 [kenkyujo@kyouikukai.jp](mailto:kenkyujo@kyouikukai.jp)

休館日 月曜日



「大阪市大空小学校」の実践  
ドキュメンタリー映画「みんなの学校」が、日本全体に感動の輪を広げています。この映画は、大阪市立大空小学校の実践記録です。木村泰子初代校長は「『みんなの学校』が教えてくれたこと」学び合いと育ち合いを見届けた3260日」の著書で、学校設立からの歩みを綴っています。その中で、「みんなの学校」とは、「すべての子どもたちが、自分らしくありのままに、学び合い育ち合う学校です。」と述べています。

「県民運動」の原点に立ち返る  
一方新潟県では、昨年末からいじめ事案が、小・中・高と全国ニュースで報道され、その状況に心を痛めている多くの人がいます。本県では「いじめ根絶県民運動」以来十年に渡って、全国にも例をみない県民総ぐるみのいじめ防止運動が県全体、各地域、各学校で展開されてきました。「何のための運動なのか。」という原点に立ち返り、学校づくり・人間関係づくりの在り方を含め、運動そのものを見直す必要性を痛感しています。

公益財団法人「新潟教育会」の役割  
本会は、多くの皆さんの後援をいただきながら、夏季大学講座や教育相談研修会、教師力アップ講座など、時代のニーズに応じた研修会を開催しています。過去四十年間に渡り事業を継続発展させ、本県教育の振興のためにひたむきに努力してきた教職員の皆様に、進むべき指針と方向性を示してきました。

前述の木村泰子さんの著書に「教師は、教える専門家から学びの専門家に」「教員が教員のままで子どもたちに関わる限り、子どものためという前提を忘れ、先生としての仕事に終始してしまおうという危険性をはらんでいる」との一節があります。

未踏の時代の中で、社会をたくましく生き抜く子どもたちを育むためには、モデルとなる教職員が、主体的学びを深め、謙虚に自らの在り方を振り返り、子どもたちと共に学ぶ「学びの専門家」となることが求められます。新潟教育会の各種研修会を、学びの機会・教職の省察の場として、ぜひご活用下さい。



代表理事

川端 弘実

「みんなの学校」が示唆していること

# 事業報告

## 夏季大学講座

教師や社会人としての資質を高める機会とするために、教育に関する原理的研究や教育課題解決の方策及び社会問題等について学ぶ講座を実施した。

○講師 佐藤 伸(サトシン)様 (絵本作家)

○演題 「お話で寄り添う、心と心」

・期 日 8月6日(土)

・会 場 朱鷺メッセ マリンホール

・参加者 約540人

### 〈受講者の声〉

特に印象に残ったのは、『わたしはあかねこ』という絵本に込められたメッセージだった。

白猫と黒猫から生まれた赤猫は認められず、親や兄弟から白か黒の毛並みになるように様々な言われる。赤猫は「私らしさをわかってくれないのは悲しい」と家出するが、赤色の毛並みを認める青猫に出会い、幸せになるという物語である。

子供のカラーを尊重し、成長を支えることの大切さ



を再確認させていただいた。

## 第41回 教育相談研修会

子どもの問題行動を解決し、解消するために信頼関係の確立や子ども理解の力量を高めるための研修講座を実施した。

・期 日 8月18日(木)

20日(土)

・会 場 じよいあす新潟会館

・参加者 18人

### 〈受講生の声〉

「話し手が主役であり、話し手を中心に考えること」「相手が何を言いたいのか、何を感じ何を求めているのか分かってと聴くこと」この二点を心に留め、話を「聴く」ことができるように実践をつんでいきたいと思えます。



## 保護者のためのカウンセリング講座

・期 日 9月4日(日)

・会 場 新潟教育会館

・参加者 7人

### 〈参加者の声〉

「子どもの話の聴き方」ですが、聴いているようで私自身聴いていないのだなと思えました。子どもがありがたいまま感情を素直に出せる環境作りをしたいと思えます。

## 教師力アップ講座

具体的な指導方法を学ぶための2講座を実施した。

### ○第1講座

「早期療育の必要性について」

保育園と療育教室の連携及び

小学校入学時の連携

講師 鈴木 成実様

エンジェル保育園園長

### ○第2講座

「アクティブ・ラーニングに

どう取り組むか」

講師 岩崎 保之様

新潟青陵大学教授

・期 日 7月26日(日)

・会 場 新潟教育会館

・参加者 延べ34人

### 〈受講生の感想〉

▼アクティブ・ラーニング、ファシリテーションがとてよくわかった。現場ではちがった受け止めがたくさんあるように思った。実践も紹介していただいたので今後勤務校で実践していきたい。職員会議等にも生かしたい。

▼対話になかなか

ならない。グルー

プの話し合いの収

束の仕方はどうし

たらいいのか等悩

みがありました。

本講座でたくさん

のヒントをいただき



## 第20回 教美展

教職員(退職教員を含む)等に美術作品の発表と鑑賞・技術向上の機会と場を提供するとともに、多くの鑑賞者に生涯学習や、豊かな心の教育についての理解を深める美術展覧会を実施した。

20回目の開催にちなみ、「20年の歩み」を特設コーナーで紹介した。

○出品部門及び出品数(点)

日本画(5)・洋画(55)

版画(3)・彫塑(4)

工芸(14)・書道(20)

写真(20)

○出品総数 121点

○入場者数 878人

・期間 11月2日(水)～11月7日(月)

・作品鑑賞・解説会、レセプション

11月5日(土)

・会 場 新潟県民会館

(ギャラリーA)

### 〈入場者の声〉

▼絵画、版画、彫塑、工芸、書道等が一度に見ることができてよい。

▼お名前が知れ渡っているベテランの先生方の作品を拝見しながら、お元気で活躍の様子を思い描いていました。一方、私の近くにおられた先生方が一年一年作風に変化を感じ、素人なりに感動しています。



# 新潟教育会

## 特別支援教育の助成

県内小・中学校の特別支援学級、特別支援教育諸学校(学級)及び特別支援教育の教室の6校(級、室)に、各5万円を助成した。

### 〈助成校〉

- 上越市 春日新田小学校
- 柏崎市 荒浜小学校
- 新潟市 味方小学校
- 燕市 吉田中学校
- 阿賀野市 水原中学校
- 新潟市 新津第二中学校

昭和47年以降本年度まで、助成した学校(学級)は、357校(学級)に及んでいる。

## 教育資料室の運営

現存資料で今後も資料室に保存するものを①～④のように定め、現在は、「空きスペースの確保作業」を行っています。

- ①教育会の設立、実施事業や運営等の資料及び教育会にかかる資料
- ②教育史上の貴重な資料
- ③教育関係諸機関の記念誌や名簿など
- ④県内の師範学校にかかわる資料

今後、「新規配架」や「データベースの作成」を行う予定です。

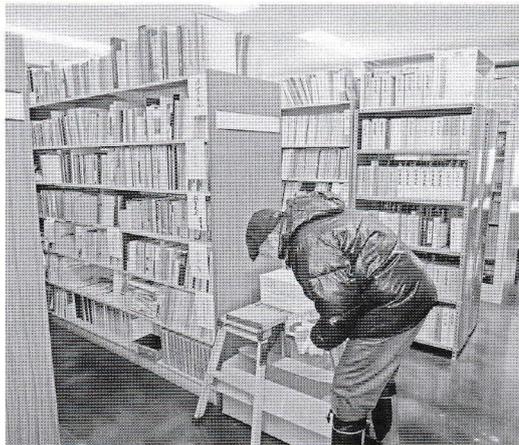
なお、収集方法の詳細については、教育会報第82号をご覧ください。

提供された資料の選定につきましては、



- ・選考委員会 9月23日(金)
- ・理事会で決定 10月15日(土)
- ・助成金授与式 11月16日(水)

資料選定委員会(委員長 斎藤寿一郎氏)を設定しています。



## 「教育研究論文集第23集」の発刊

県内の小・中学校及び特別支援学校の教員の優れた研究実践や研究成果を広く紹介し、読者である教職員の研究意欲と資質・指導力の向上を目的として発刊した。

○発刊 平成29年3月

なお、入選した論文の紹介は4頁に掲載してあります。

## 「教育調査報告書第7号」の発刊

様々な教育課題について、教職員や保護者の意識や実態を調査し、報告書の発刊を通して、現状と改善の方法を提言する。本年度は、内容や調査方法を検討した。発刊は、来年度となる。

## 教育会館の活用

新潟教育会館の研修室、資料室を教育研究団体や要請のあった団体に貸与し、施設の活用を図った。

- ・使用団体 延べ 311団体
- ・使用者 延べ 6,866人

## 教育情報の発信

有意で適時性のある教育諸情報をホームページや各種広報誌で発信した。

- ※「教育会報」(年3回)「教育研究所 所報」(年3回)「ホームページ」要覧」等

## 会務報告

### 〈平成28年〉

- 4月15日(金) 第1回連絡会
  - 4月19日(火) 会計監査会
  - 4月24日(日) 第1回理事会
  - 5月14日(土) 第1回評議員会
- (定時評議員会)

- 6月3日(金) 第2回理事会
- 6月13日(月) 事業案内、刊行物等発送
- 6月17日(金) 第2回連絡会
- 6月25日(土) 「冊子報告書」発刊

- 7月6日(水) 「第42回教育相談研修会」
- 7月16日(土) 資料選定委員会
- 7月16日(土) 「第20回教美展」

- 9月3日(土) 第1回実行委員会
- 9月7日(水) 資料選定委員会
- 9月10日(土) 第1回小委員会
- 9月23日(金) 第3回連絡会

- 10月5日(水) 教育アドバイザー説明会
- 10月15日(土) 特別支援教育助成校
- 10月26日(水) 選考委員会
- 10月28日(金) 資料選定委員会

- 11月10日(土) 資料選定委員会
- 11月18日(金) 研究論文審査会
- 11月18日(金) 資料選定委員会
- 12月3日(土) 「第20回教美展」

- 12月7日(水) 第2回実行委員会
- 12月21日(水) 第5回連絡会
- 12月21日(水) 資料選定委員会
- 2月8日(水) 第6回連絡会

- 2月25日(土) 「第20回教美展」
- 3月11日(土) 第2回小委員会
- 3月11日(土) 第4回理事会
- 3月15日(水) 第2回評議員会

- 3月24日(金) 第7回連絡会
- 3月24日(金) 資料選定委員会

- 3月24日(金) 資料選定委員会

平成27・28年度 教育研究論文第23集 入選者一覧

氏名	勤務校	教科・領域等	論 題
樋口 大輔	長岡市立上川西小学校	小学校国語	郷土の言葉を大切に民話を楽しむ子どもの育成 - 地域教材・地域人材と視聴覚機器を活用した単元構成の工夫 -
木村 哲	長岡市立旭岡中学校	中学校数学	中学校数学科における証明の一般性についての理解を促す指導の工夫 - 2年「図形の性質」の証明の初期指導を中心にして -
小林 寿	阿賀野市立笹神中学校	中学校理科	理科学習に対する生徒の目的意識の醸成と学習意欲の向上を目指した実践研究 - 単元を貫く課題と布石実験を設定した電気の学習を事例として -
樋浦 吉人	加茂市立加茂小学校	小学校図画工作	児童が鑑賞の能力を発揮し、表現を高める授業の工夫 - 「鑑賞遊び」・「伝え合い、見直す活動」を通して -
布施 和法	新潟市立太田小学校	小学校体育	投力を高めるための効果的な指導の在り方 - 新聞スティックを用いた授業実践を通して -
中村 康	新潟市立葛塚小学校	小学校総合	小学校総合的な学習の時間における自己の生き方を見つめ考える指導の工夫 - ゲストティーチャーとの交流を通して -
大関 正人	新潟市立巻北小学校	情報教育	ICTを活用した算数科授業の研究 - デジタルテープ図を活用した6年「倍と割合」の指導を通して -
加茂 勇	新潟市立松浜小学校	特別支援教育	発達障害児童の他者との相互作用の変容に関する研究 - 小学校中学年期の通常の学級における実践を通して -

月別派遣実績

4月	2
5月	0
6月	0
7月	3
8月	6
9月	3
10月	4
11月	2
12月	0
1月	3
2月	1
3月	2

現職の皆さんの教師力の向上や保護者の皆さんの子育てを支援するため、28年度は26件の要請に対して教育アドバイザーを派遣した。校内研修、サークル・団体の研究活動等の諸活動に対する派遣である。現在、当研究所に登録している教育アドバイザーは89人である。経験と識見豊かな教育アドバイザーを大いに活用したい。

教育アドバイザーの派遣

派遣の傾向

◎支援対象

校内研修が全体の5割弱を占めた。昨年度とほぼ同様の傾向である。校内研修における講演や授業研究の指導・助言が主である。いろいろな団体での講演も多い。

◎派遣依頼地区

下越地区は19件（新潟市は11件）、中越地区等は7件であった。昨年度に比べて中越地区がやや減少した。教育アドバイザーは県下各地に居住していることをご承知置き願いたい。  
28年度版「教育アドバイザーリスト」を作成したので、ご覧の上、来年度も引き続き、活用願いたい。



「えちこの教育 創刊号」 えちこの会

「平成28年度版 学校の管理運営」

新潟県教育関係法令研究会

「数学教育とメタ認知的知識」

星野 将直

「Number and Figure 第75号」

長岡算数教育を語る会

「教育ファシリテーション入門」

特定非営利活動法人みらいずworks

「写真絵本

セキセイインコのチビスケ物語」 阿部 壮



「これのできるわくわく

ファシリテーション」

にいがたファシリテーション授業研究会



「30周年記念誌『無二』

研究紀要 第39集」

無二の会

新大教育学部附属特別支援学校



あとがき

本号は、本年度の会務及び事業の報告を中心に編集しました。

みなさまのご支援のおかげで、当初計画した事業等が無事に実現できました。ありがとうございます。

新潟教育会館は、月曜日を除く、平日の午前9時から午後4時まで開館しております。土・日の利用も可能ですので、大いにご利用下さい。